



福岡県春闘共闘は、3月31日「人間らしい生活を実現しよう」と、舞鶴公園広場で総決起集会を開き3万人が結集。三池労組から14人が参加した。

人並みの上昇率を

賃上げ抑制をうけ、またも春闘で生活向上のために、攻めの春闘と位置づけられた八五春闘は、民間大手の回答が出されたことで前半のヤマを越え、いよいよ中小、公務協の後半のたたかいへと移ってきました。

三月末から回答を引き出している標準労働者を基準表示している委員会の開き、交渉に入ると同時に、平均標準賃金になおすと電機、自動車、私鉄などほとんどの機、自動車の賃上げ幅を破り、人並みの賃上げ幅をめざす。昨年は高同額だという指摘もありました。炭労の春闘は十五日に中央執行

したたかが必要だ。

犠牲強い回答許すな

左表のように八三年、八四年との春闘ではどうしても他産業並みの上昇を勝ちとらなければならぬ。今年の上昇に終わっています。今年の上昇に終わっています。今年の上昇に終わっています。

資料 10年間の春闘実績

(単位=円・%)

年度	要求額 (日)	上昇額 (日)	上昇額 (月)	上昇率	平均 上昇率
1975	1,800	565	15,279	13.1	
1976	1,320	392	11,596	8.8	
1977	760	458	12,536	8.8	9.4
1978	650	168	9,218	5.9	6.1
1979	400	150	9,959	6.0	6.2
1980	470	320	11,679	6.7	7.0
1981	730	445	14,037	7.7	7.7
1982	680	444	12,897	6.3	7.6
1983	490	175	5,060	2.4	4.5
1984	430	182	5,243	2.4	4.6
1985	510	?	?	?	?

- ◎ 上昇月額には能率上昇分(昨年は1.2803)が乗じられている。
- ◎ 標準出勤方数は月22.5方。
- ◎ 上昇率は少数点2位以下を4捨5入。
- ◎ 平均上昇率は春闘共闘調べ(加重平均)。

出炭や縮小で人員減

保安確保の要員増求める
上期中央生産会議開く



三池労組は、長期生産計画と人員計画、保安問題、高温対策、山ハネ対策、通気対策、人車改造、その他の設備改善などについて会社側の対応をたじた。

六十年度上期(四月・九月)の中央生産会議が四月十日午後二時から開かれました。会社側の説明では、五十九年度下期の出炭実績は二、三五五、〇〇〇トンの予算に対して実績二、二五三、六二二トンの減産率二八・四四トンの減産(遂行率八八・八%)。四山鉱の山ハネと自然発火の徴候による減産が主なもので、今期の予算は二、二八〇、〇〇〇トンの前期比七五、〇〇〇トンのマイナス。人員計画では百人の採用ですが、前期末在籍三千六百八十一人に対して二十四人の減員。会社側の説明に対して質疑応答のあと、組合側から十九項目の質問を出し、それぞれ回答を受けました。くわしくは後号で。

地底

▼三日と晴天がつづかず雨が降り、移動性高気圧と低気圧が交互に通るため、気温上昇の割合は一年間で最も大きい。それでも「四月のちゃんちゃん」といわれるように雨が降って急に冷え込んだりする。

▼有明鉱大災害の犠牲者をうたう「殉職者の碑」が大牟田市倉永の甘木山中腹にある有明ゴルフ場の敷地内に建立され、七日雨の中で除幕式が挙行された。参列した遺族らは悲しみをあらわした。災害の後遺症は「心」でもつづく。それにしても「碑」、有明鉱が「望」であるといえ、人の目にふれない場所を選んだものだ。

▼「国民の皆さま、外国製品を是非お買い下さい」と、中曽根首相が呼びかけた記者会見がテレビ中継。アメリカなどの貿易摩擦対策というわけだが、年間に一人当たり二万五千円の外国製品を買えと求められ、言えるもの。低賃金で生活苦など知らぬ。この「舶来品セールスマン」として「国民」とは一体何なのか。

▼鉄鋼を除いて軒並み上昇率五割の回答が大手民間に出た。JC(鉄鋼)の回答はほんの微増で昨年につづく低額回答。労働側は不満だがぎりぎりまで詰めた」とい、経営側は「組合の常識を信じた」という。さて、五割を試算すれば税金、社会保険料、物価上昇などほとんど消え、百円玉がいくつ残る程度だ。

▼春闘の回答状況は、昨年実績を上まわっているとはいえず、かたに。依然資本の抑制策は変わっていない。内需拡大には到底結びつかぬ。今後のたたかいでこのラインを突破する構えが肝要。やはり、ストがうてないでなく、ストを背景という姿勢を作ったかどうか問われている。人並み、実現の正念場でもある。

スト背景に悔いのない春闘を

情報

年金改悪で情勢緊迫

年金額を四割近く引き下げ、保険料を二・三割引き上げるといふ年金改悪をめぐる情勢は、国会での自民党による公明、民社、社民連三党の抱き込みをはかり、定例日外の審議、さらに強行採決という状況もあり、他の法案と関連して会期延長という自民党のめくろみもからみ重要段階を迎えています。廃案への総行動を。

BC保安装置義務化

通産省が通達、規則改正も新聞報道によると、通産省は近く全国の炭鉱に対し、すべてのベルトコンベヤーに保安装置を取り付けることを通達し、具体的な基準の見直しと保安規則の改正などを決めました。

うーき

4月5日 春闘ビラ配布
4月6日 執行委員会
4月8日 執行委員会
4月10日 中央生産会議
4月11日 執行委員会
4月12日 春闘ビラ配布
4月13日 職場分会長会議
4月13日 春闘学習会
4月15日 炭労中央闘争委員会
4月19日 春闘ビラ配布

裁判所が現場検証

有明鉱大災害裁判で、有明鉱大災害の責任追及のために民事訴訟を起している五遺族の裁判を担当している谷水裁判長ら三人と、原告、被告双方の弁護士など合わせて二十六人は四月十二日災害を引き起こした有明鉱に入坑、災害の現場や保安設備などの検証を行いました。